

研究業績説明書【記述例】

法人番号	XX	法人名	〇〇大学	学部・研究科等番号	X	学部・研究科等名	〇〇学部・〇〇研究科
------	----	-----	------	-----------	---	----------	------------

① ②

1. 学部・研究科等の目的に沿った研究業績の選定の判断基準【400字以内】③

本学部・研究科は、~~~~~という目的を有しており、~~~~~という点が最も重要であると考えている。また、~~~~~であり、~~~~~であるため、~~~~~という点も考慮している。それらを踏まえ、~~~~~という判断基準で研究業績を選定している。

2. 選定した研究業績

業績番号	細目番号④	細目名⑤	研究テーマ及び要旨【200字以内】⑥	代表的な研究成果【最大3つまで】⑦							学術的意義	結果や客観的指標等）意義】及び「社会、経済、」する場合は、800字以内）	重複して選定した研究業績番号⑩	共同利用等⑪
				a)	b)	c)	d)	e)	f)	g)				
				著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・会合等	巻・号	頁	発行・発表年等	掲載論文のDOI・書籍等のISBN（付与されている場合）				
1	XXXX	〇〇〇〇の研究 本研究は、〇〇〇〇に関し、従来より課題となっていた~~~~~について、~~~~~という理論を用い、分析・解明したものである。この手法は、~~~~~という点で画期的であり、これにより~~~~~であることが明らかとなり、~~~~~することのできることを示すことができた。	(1)	XXX, XXX, XXX	〇〇	〇〇	〇	pp.〇-〇	2015	DOI:〇〇.〇〇〇〇/〇〇〇〇〇〇	SS 「代表的な研究成果」が1つのみであっても、(2)、(3)の行は削除せず空白のままにしてください。 〇〇〇〇において、合計〇回引用されている。また、本業績に関連して、△△国際会議では「~~~~~」の演題で、××国際会議では「~~~~~」の演題で招待講演を行い、その他国内の学会等を含めると、計〇回の招待講演を行った。本業績は、当該分野のみならず、関連する△△△△の研究にも大きく貢献し、国際学術誌『▽▽▽▽』において、「~~~~~」と高く評価されている。		
				(2)										
				(3)										
2	XXXX	△△△△の研究 本研究は、△△△△について、従来まで検証されていなかった~~~~~の視点から考察したものである。本研究では、特に、~~~~~という点に着目し、定説とされていた~~~~~について、~~~~~であることを論証したものである。	(1)	XXX	〇〇	〇〇	〇	pp.〇-〇	2012	DOI:〇〇.〇〇〇〇/〇〇〇〇〇〇	S (1)は、当該研究の中核をなす論文、(2)は、(1)で論証した~~~~~を更に~~~~~のアプローチからも明らかにした論文であり、両論文は2013年度の日本△△学会の△△賞の対象となったものである。(3)は、(1)(2)の内容を中心に、最近の研究動向をまとめた総説であり、□□学会の□□において、「~~~~~」と言及されている。また、これらの論文等から構成される「△△△△の研究」について、国際的学術誌『◇◇◇◇』において、「~~~~~」の書評を受けており、~~~~~という点が評価されている。	X-X-X	
				(2)	XXX	△△	△△	△	pp.△-△	2012	DOI:△△.△△△△/△△△△△△			
				(3)	XXX	□□	□□	□□	pp.□-□	2014	DOI:□□.□□□□/□□□□□□			
3	XXXX	◇◇◇◇の研究 本研究は、従来の◇◇◇◇に関し、新たに~~~~~を応用し、~~~~~という技術手法を開発したものである。これは、~~~~~で注目されている~~~~~プロジェクトの中心的な役割を担うものであり、当該技術に基づく▽▽▽▽システムにより、~~~~~を可能とした。	(1)	XXX	△△	△△	△	pp.△-△	2013	DOI:△△.△△△△/△△△△△△	SS (1)は実用性において評価の高い論文に与えられる〇〇学会の〇〇賞を2013年度に受賞した。受賞理由は、「~~~~~」と記されている。また、(1)で示された~~~~~という技術手法は、××新聞(2014年〇月〇日)、△△新聞(同年〇月〇日)、◇◇新聞(同年11月24日)で書評に取り上げられ、「~~~~~」等の高い評価を受けている。当該技術は2015年に実用化され、世界120か国において製品化、普及しており、全世界の人々の生活に新たな基軸をもたらした。また、〇〇社の報告(報告書『〇〇〇〇』2016年〇月)に依れば、当該技術に基づく▽▽▽▽システムの運用による全世界の経済効果は年間75億米ドルと報じられている。		
				(2)										
				(3)										

4	XXXX	<p>□□□□の研究</p> <p>本研究は、□□□□について、~~~~~の視点から~~~~~の観点から~~~~~の手法を用いて分析したものであり、~~~~~の活用により、~~~~~が有効であることを実証した。また、この実証に基づき、現在課題とされている~~~~~の実施、~~~~~について、~~~~~の活用等を提言している</p>	(1)	XXX	○○	○○	○	pp.○-○	2012	DOI:○○.○○○○/○○○○○○	S	SS	<p>【学術的意義】</p> <p>(1)は、~~~~~という内容の論文、(2)は、~~~~~という内容の論文であり、いずれも○○年度の日本△△学会の△△賞の対象となったものである。(3)は、~~~~~という内容の論文であり、□□学会の□□において、「~~~~~」と言及されている。</p> <p>本業績に関して、2015年△△学会の国際会議「○○○○」でのプレナリー発表、翌年度の基調講演「○○○○」を始めとして、2016年にアメリカ、オーストラリア、韓国の各国の関係学会で招待講演を行っている。</p> <p>【社会、経済、文化的意義】</p> <p>(3)は、「□□□□の研究」を取りまとめた著書であり、△△県××××審議会において参考資料として提出され、~~~~~を踏まえ、~~~~~されておき、◇◇◇◇条例の形成に寄与している。</p> <p>また、◇◇◇◇条例に基づく県の政策にも~~~~~の側面から反映されている。</p> <p>さらに、本書は、○○新聞(2016年○月○日)、××新聞(同年○月○日)、△△新聞(同年○月○日)、日本◇◇新聞(同年○月○日)で書評に取り上げられ、「~~~~~」等の高い評価を受けているとともに、◇◇◇◇産業や▽▽地域の□□産業について、~~~~~といった点で、その発展に大きく寄与している。</p>
				(2)	XXX	△△	△△	△	pp.△-△	2012	DOI:△△.△△△△/△△△△△△			
				(3)	XXX	□□	□□	□□	2014	ISBN:□□□□□□□□□□□□				
5				(1)										
				(2)										
				(3)										
6				(1)										
				(2)										
				(3)										

・別にセルを結合したり、結合の解除を行わないでください。
 ・列の幅の変更、列の追加、削除は行わないでください。